

大項目 2：住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項						
	中期目標	中期計画	年度計画（平成 29 年度）	事業実績及び課題（事業報告書から）	評価	
1 提供する医療の内容	(1) 高齢化に対応した医療 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高齢者の病気の重症化の予防</li> <li>■ 在宅における生活の質を高める医療</li> <li>■ 終末期における在宅医療</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者の在宅生活の支援及び在宅生活復帰支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問看護ステーションの充実</li> <li>・地域包括ケア病床の導入</li> </ul> </li> <li>● 多職種連携による終末期の在宅医療推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域包括ケア病床導入（平成 28 年度） 50 床（府中市民） 18 床（北市民）</li> <li>○ 多職種連携による終末期の在宅医療推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケア病床の効果的運用</li> <li>・心臓リハビリの開始（府中市民）</li> <li>・通所リハビリの開始（北市民）</li> <li>・訪問看護、訪問介護サービスの実施</li> </ul>	◎	高齢化に対応した医療としてこれまで実施をしてきた取り組みに加え、府中市民病院による心臓リハビリテーションの開始や府中北市民病院による通所リハビリテーションといった新たな取り組みが始められたことは評価されるべき
	(2) 予防医療 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市の保健事業との連携</li> <li>■ 総合的な予防医療の提供（人間ドック、健康診査の実施）</li> <li>■ 介護予防等、住民の健康寿命の延伸への貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人間ドックや健康診査受診の積極的呼び掛け</li> <li>● 総合的な予防医療の提供</li> <li>● 介護予防に向けたリハビリ機能の充実</li> <li>● 市と両病院がそれぞれ所有する情報の予防医療への効果的な活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人間ドック、健康診査の実施</li> <li>○ セミナー室、レストランを活用した生活習慣病予防啓発（府中市民）</li> <li>○ 入院・外来患者へのリハビリ、訪問リハビリの充実</li> <li>○ 通所リハビリの開始（北市民）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間ドック、特定健診、がん検診を積極的に実施</li> <li>・更なる健診受入者数の拡大は困難</li> <li>・婦人科検診体制の維持</li> <li>・両病院のリハビリの業務量増加に対応した職員増員を図る</li> </ul>	○	
	(3) 救急医療への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域の医療機関と連携・補完、急性期患者への速やかな対応</li> <li>■ 日常的な地区医師会・所轄消防署との情報交換</li> <li>■ 近隣医師会や関係医療機関との更なる連携の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 急性期患者への速やかな対応</li> <li>● 日常的に情報交換を行うための仕組みづくり</li> <li>● 広域での救急医療体制の維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の医療機関と連携した救急患者への対応</li> <li>○ 日常的に情報交換を行うための仕組みづくり</li> <li>○ (二次救急) 病院群輪番制病院（府中市民） 救急告示病院（北市民）</li> <li>○ 休日当番医制に参加</li> <li>○ 福山地区と広域で救急医療体制維持</li> <li>○ 救急医療を担う常勤医師・非常勤医師の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(二次救急) 病院群輪番制病院（府中市民） 救急告示病院（北市民）</li> <li>・(休日当番医制) 診療所と協力し当番医減少を補完（府中市民） 年間を通じて上下地域の当番医を担当（北市民）</li> <li>・24 時間 365 日、外科の緊急手術に対応する体制を継続（府中市民）</li> </ul>	○	
	(4) へき地医療 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 過疎化・高齢化が進む地域住民の受療機会の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 久佐・協和両地区での巡回診療の実施（府中市民…へき地医療拠点病院）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 久佐・協和両地区での巡回診療の実施（府中市民）</li> <li>○ へき地医療を担う医師や医療従事者の研修及び研究施設を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・久佐・協和両地区での巡回診療を継続（府中市民）</li> <li>・へき地医療を担う医師や医療従事者の研修及び研究施設を目指す</li> </ul>	○	
	(5) 災害医療への協力 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 行政からの要請に基づき必要な医療の提供（災害発生時、感染症流行時）</li> <li>■ 所轄消防署等と連携した災害対策訓練の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政からの要請に基づき必要な医療の提供（災害発生時、感染症流行時）</li> <li>● 所轄消防署等と連携した災害対策訓練の実施</li> <li>● 市の総合防災訓練への積極的参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 行政からの要請に基づき必要な医療の提供（災害発生時、感染症流行時）</li> <li>○ 所轄消防署等と連携した災害対策訓練の実施</li> <li>○ 市の総合防災訓練への積極的参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度は市からの要請なし</li> <li>・消防訓練は実施、災害対策訓練は未実施</li> <li>・BCP（事業継続計画）の作成、災害等対策訓練実施に向けて努力する</li> </ul>	○	近年全国的に自然災害が頻発している現状があり、災害が発生した場合、両病院は府中市における医療提供の拠点としての施設になり得ることから、中期計画、年度計画にもあるように、所轄消防署と連携し、定期的に対策訓練を実施すべき

評価：  
 ◎…年度計画を上回って実施、  
 △…年度計画を十分に実施できていない、  
 ○…年度計画を順調に実施  
 ×…年度計画を大幅に下回っている

大項目2：住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項						
2	中期目標	中期計画	年度計画（平成29年度）	事業実績及び課題（事業報告書から）	評価	
病院が担う役割の確立と診療機能の確保	(1) 両病院の将来像の確立					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 両病院の将来像の確立</li> <li>■ その実現に向けた計画的取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 病院運営を取り巻く情勢や地域の医療ニーズを的確に反映した両病院の将来像の確立</li> <li>● 地域住民や関係機関と共通の認識を持った、計画的な取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 病院運営を取り巻く情勢や地域の医療ニーズを的確に反映した両病院の将来像の確立</li> <li>○ 医療機関全体の役割分担に向けて府中地区医師会の医療機関と連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 両病院の将来像を確立するまでには至らず</li> </ul>	×	
	(2) 必要な診療機能の確保					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 必要な診療機能の確保</li> <li>■ 地域の病院、診療所などとの役割分担による効果的な診療科目の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域包括ケアシステムの構築に向け、必要な診療機能の確保</li> <li>● 近隣病院、診療所との連携・役割分担による効果的な診療科目の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 婦人科検診の存続</li> <li>○ 他の不足する機能の確保努力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 府中市民病院の内科常勤医師を府中北市民病院へ異動し診療機能を維持（平成27年度から）</li> <li>・ 両病院医師の連携を継続（内科・外科常勤医師が相互診療支援）</li> <li>・ 両病院とも内科常勤医師の招聘が必要</li> </ul>	○	最近の医師確保が困難な状況の中、両病院における婦人科・小児科をはじめとした医療機能が維持されていることについては評価されるべき
(3) ICT技術を活用した地域医療連携						
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 医療機関・介護サービス事業所等との連携の促進</li> <li>■ ICT技術の更なる活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医療連携にむけたICTの活用推進</li> <li>● 「ひろしま医療情報ネットワーク（HMネット）」参加（広域）</li> <li>● 在宅医療情報共有システムによる地域連携（府中地区医師会圏域）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ HMネット開示情報の充実</li> <li>・ 診療圏域が近い寺岡記念病院との連携推進</li> <li>・ 福山地区の医療機関との更なる連携促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ HMネット参加（平成28年度、府中市民）</li> <li>・ 放射線画像の開示システムを構築（府中市民）</li> <li>・ 府中地区医師会圏域の参加施設拡大に向けた運用が必要</li> <li>・ 電子カルテ導入を検討中（北市民）。導入時にはHMネット参加予定</li> </ul>	○	今後重要性が高まってくるICT技術を活用した地域医療連携については、昨年度の評価委員会からの意見にもあったように、今後できることから整備を行っていくべき	
(4) 広域的連携体制構築が進められている医療への対応						
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市と連携した小児救急・周産期等の再開（広域的連携体制の構築が推進中）</li> <li>■ 広域的連携体制内で両病院が担うべき具体的役割の実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小児救急・周産期は病院単独での再開は困難</li> <li>● 広域的連携体制内での両病院の具体的な役割を明確にし、その役割を果たす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小児救急・周産期は病院単独での再開は困難</li> <li>○ 広域的連携体制内での両病院の具体的な役割を明確にし、その役割を果たす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 非常勤医師による小児科外来の継続</li> <li>・ 婦人科外来診療と婦人科検診の維持</li> <li>・ 診療科の維持には医師の招聘にも取り組む必要がある</li> </ul>	○		
地域包括ケアシステムの構築	(1) 地域包括支援センターとの連携					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域包括支援センター（サブセンター）機能との連携</li> <li>■ 在宅支援機能の一層の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域包括支援センター（サブセンター）機能との連携推進（サブセンター）</li> <li>・ 南部生活圏域…府中市民病院内</li> <li>・ 北部生活圏域…上下保健センター内</li> <li>● 府中北市民病院が推進役となり早急な上下地域の地域包括ケアシステムの構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域包括支援センター（サブセンター）機能との連携推進</li> <li>○ 病院の地域医療連携室との連携の強化、それぞれの在宅支援機能の発揮（府中市民）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域医療連携室の体制を強化し前方連携、後方連携、在宅支援の業務担当を明確化（府中市民）</li> <li>・ 地域医療連携室とサブセンターによる他職種研修会を開催、地域への出前講座を実施（北市民）</li> </ul>	○	
(2) 「在宅支援システム」構想の推進						
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地区医師会、訪問看護ステーションや介護サービス事業所との連携体制の実現</li> <li>■ 緊急時の受け皿機能の発揮による在宅介護者の不安解消</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地区医師会、訪問看護ステーションや介護サービス事業所との連携体制の実現</li> <li>● 緊急時の受け皿機能の発揮による在宅介護者の不安解消</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地区医師会、訪問看護ステーションや介護サービス事業所との連携体制の実現</li> <li>○ 緊急時の受け皿機能の発揮による在宅介護者の不安解消</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 府中地区医師会の地域包括ケア事業多職種連携協議会に参加（府中市民）</li> <li>・ 講演会を開催（府中市民）</li> <li>・ シンポジウムを開催（北市民）</li> </ul>	○		

大項目2：住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項					
	中期目標	中期計画	年度計画（平成29年度）	事業実績及び課題（事業報告書から）	評価
3 地域包括ケアシステムの構築	(3) 医療・介護の総合的サービス提供 ■ 両病院の医療機能・資源を最大限に活用した在宅生活を支える医療と介護の総合的サービスの提供	● 在宅生活を支える医療と介護の総合的サービスの提供 ● 24時間定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業の開始（北市民） ● 病院4階施設を通所、宿泊が可能な介護サービス事業へ有効活用（北市民）	○ 在宅生活を支える医療と介護の総合的サービスの提供 ○ 24時間定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業開始（平成28年度、北市民） ○ 病院4階施設を通所、宿泊が可能な介護サービス事業や住居系の施設への有効活用を検討（北市民）	・ 居宅介護支援事業所を廃止。南部生活圏域の居宅介護支援事業所（17事業所）との連携を推進（府中市民） ・ 24時間定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス事業を継続（北市民） ・ 病院4階施設の利活用策をサービス付き高齢者向け住宅とし、改修設計を実施（北市民）	○
4 医師及び医療従事者の積極的かつ計画的な確保	(1) 医療機関をはじめとした関係機関への協力要請 ■ 病院の魅力向上 ■ 広島・岡山両大学病院、広島県、広島県地域医療支援センター等への医師派遣要請にこれまで以上の努力	● 病院の魅力向上 ● 市と連携して大学病院、広島県、広島県地域医療支援センター等への医師派遣要請 ● 病院と地域住民の協働で医師を招聘するための地域づくり	○ 病院の魅力向上 ○ 市と連携して大学病院、広島県、広島県地域医療支援センター等への医師派遣要請 ○ 病院と地域住民の協働で医師を招聘するための地域づくり	・ 大学病院、広島県、広島県地域医療支援センター等への医師派遣要請を実施（理事長、事務長） ・ 医師育成奨学金（府中市）…奨学生4人（平成29年度末時点）	○
	(2) 臨床研修体制の充実 ■ 地域の病院との連携による、病院群としての臨床研修体制の構築	● 初期臨床研修における地域医療研修の受け入れに努力 ● 総合診療医を目指す医師の研修病院をめざす	○ 臨床研修体制の構築に向けた社会医療法人社団陽正会との連携強化（地域医療病院コンソーシアム府中） ○ 岡山大学病院、福山市民病院、中国中央病院の内科専門医研修プログラムに特別連携施設として登録（府中市民）	・ 府中市民病院、研修受け入れ実績なし（岡山大学病院、福山市民病院、中国中央病院の内科専門医研修プログラム） ・ 府中北市民病院、地域医療研修の研修医・学生の受け入れ実績なし（広島大学病院の協力型臨床研修病院）	△
	(3) 看護師養成機関等との連携 ■ 奨学金制度や採用情報などの積極的周知	● 奨学金制度や採用情報など、看護師養成機関等への積極的な周知 ● 計画的な看護師、医療技術者の採用	○ 奨学金制度や採用情報など、看護師養成機関等への積極的な周知 ○ 計画的な看護師、医療技術者の採用 ○ 地元の高校生・中学生へ病院事業や奨学金制度の説明会開催（北市民）	・ 奨学金貸与学生2人が病院機構に就職 ・ 看護師等奨学金…奨学生1人（平成29年度末時点） ・ 近隣の看護学校に奨学金制度や両病院の採用情報などを周知 ・ 上下高校で奨学金制度説明会を開催（北市民） ・ 府中地区医師会准看護学院への講師派遣、実習生受け入れ（府中市民） ・ 訪問看護ステーションで実習生受け入れ（府中市民）	○
	(4) 子育て世代等に配慮した職場環境の整備 ■ 女性や子育て世代の医師・医療従事者が勤務し続けることができる、魅力ある制度の構築と院内環境の整備	● 魅力ある制度の構築と院内環境の整備 ・ 短時間正規雇用制度の導入	○ 短時間正規雇用制度の導入 ○ 院内保育所「おひさま」の効率的かつ効果的な運用	・ 短時間正規雇用制度の構築には至らず ・ 院内保育所「おひさま」の認可保育所化に向けた準備実施 ・ 労働契約法の改正に対応した職員確保に努める必要がある	△

大項目 2 : 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

	中期目標	中期計画	年度計画（平成 29 年度）	事業実績及び課題（事業報告書から）	評 価
5 地域住民とともに守る病院づくり	(1) 患者の利便性と院内環境の快適性の向上	● 患者の待ち時間の短縮等、利便性の向上 ・電子カルテの導入（府中市民） ・両病院間の患者情報共有ネットワークの構築	○ 複数の医療機関が連携して患者を見守る地域づくりの推進 ・HMネットによる地域の病院、診療所との医療連携 ・両病院間の患者情報共有ネットワークの構築	・府中市民病院の建替え完了（平成 28 年度） ・外来に医療情報参照用パソコンを配置（府中市民） ・電子カルテ導入による業務の効率化と患者待ち時間の短縮（府中市民） ・地域住民の作品展、「ロビーコンサート」を開催（北市民）	○
	(2) 患者情報の保護	● 患者情報の適切な管理・保護を、引き続き厳格に実施	○ 患者情報の適切な管理・保護を、引き続き厳格に実施 ○ 個人情報保護に関する職員研修会の開催	・個人情報保護法の改正に関する職員研修会を開催（府中市民） ・地域医療病院コンソーシアム府中で同様の研修会を開催 ・セキュリティ対策セミナー（北市民） ・個人情報保護に関する職員研修会の開催	○
	(3) 職員の接遇向上	● 職員の接遇に対する患者満足度の把握 ● 満足度調査結果を職員研修に活用	○ 職員の接遇に対する患者満足度の把握 ○ 満足度調査結果を職員研修に活用 ○ 職員研修の開催（年 2 回）	・投書箱を設置し、回答を 1 階ロビーに掲示（府中市民・北市民） ・接遇委員会を開催、職員研修等の内容を協議 ・院内ラウンドを実施 ・職員研修を開催（府中市民 2 回、北市民 1 回）	○
	(4) 医療安全対策の徹底	● 院内感染防止策の確実な実施 ● 医療安全対策の徹底	○ 院内感染防止策の確実な実施 ○ 医療安全対策の徹底 ○ 医療安全対策委員会を毎月開催	・院内感染対策委員会を毎月開催 ・院内感染対策の職員研修会を定期開催 ・医療安全対策委員会を毎月開催 ・医療安全対策の職員研修会を開催	○
	(5) 住民への積極的な情報発信と住民啓発	● 広報紙や電子媒体による病院情報の積極的な発信 ● 病院施設を活用した地域交流の促進	○ 広報紙や電子媒体による病院情報の積極的な発信 ○ 市と連携し地域交流の促進	・病院機構広報紙は未発行 ・トピックス記事（病院 HP）、Facebook ・「かわら版」の発行（北市民） ・病院まつり、院内コンサート開催 ・地域のまつりに出店	○
	(6) 病院ボランティアの育成・受入れ	● 病院ボランティアの育成、積極的活用	○ 病院ボランティアの育成、積極的受入 ○ ボランティア業務内容の再検討	・総合受付での受付案内や、外来から検査への誘導をボランティアが担当（府中市民）	○
	■ 患者の待ち時間の短縮等、利便性の向上 ■ 適切な施設の管理や保全 ■ 患者のプライバシー保護に配慮した施設改良	● 適切な施設の管理や保全 ● 患者のプライバシー保護に配慮した施設改良	○ 病院業務の電子化による患者の待ち時間短縮等、利便性の向上 ○ 患者のプライバシー保護に配慮した施設改良		
	■ 患者情報の適切な管理・保護				
	■ 職員の接遇に対する患者満足度の定期的把握とその向上				
	■ 院内感染防止策の確実な実施 ■ 医療安全対策の徹底				
■ 病院情報の積極的な発信 ■ 病院施設を活用した地域交流の促進 ■ 地域住民の理解促進と親近感の醸成 ■ 保健・医療・介護に関する普及啓発					
■ 病院ボランティアの育成、積極的活用					

大項目3：業務運営の改善及び効率化に関する事項					
	中期目標	中期計画	年度計画（平成29年度）	事業実績及び課題（事業報告書から）	評価
1 運営管理体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自律的な業務運営の実現に必要な経営戦略機能の充実</li> <li>■ 運営管理体制の確立</li> <li>■ 病院外部意見等の業務運営への活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 早急な組織改革</li> <li>● 病院外部からの意見等を業務運営に活かす仕組みづくり</li> <li>● 業務分析と多様な情報収集の成果の、業務運営への反映</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総務課長を市から招聘</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総務課長を市から招聘</li> </ul>	<p>△</p> <p>運営管理体制の確立に向けた更なる取り組みの検討など、昨年度の評価委員会からの意見が取り組みに十分反映されていない事項については、引き続き改善に向けた取り組みを継続する必要がある</p>
2 効率的で弾力的な人員配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 効果的かつ効率的な組織体制の実現</li> <li>■ 業務の改善と効率化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 限られた人材の弾力的配置</li> <li>● 主体的に運営を行う組織風土の醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 職員配置見直し</li> <li>○ 地域包括ケアシステム構築を目標とした人員配置</li> <li>○ 法人事務局職員の法人採用職員への移行</li> </ul>	<p>両病院の効果的な職員配置を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 両病院間の職員異動</li> <li>・ 心臓リハビリテーション開始による職員採用</li> <li>・ 通所リハビリテーション開始による職員配置</li> <li>・ 透析室の維持のための職員配置</li> <li>・ 市の派遣から法人採用職員への移行に向けた職員採用</li> </ul>	<p>○</p>
3 職員教育体制の充実	(1) 医師及び医療従事者の専門性及び医療技術の向上支援				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 安全で質の高い医療の提供</li> <li>■ 地域に必要な医療人材の定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 安全で質の高い医療の提供</li> <li>● 地域に必要な医療人材の定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 職員研修費の計画的、効果的な予算執行</li> <li>○ 必要に応じた柔軟な予算執行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全職員の学会、研修会、発表会等への参加を支援</li> </ul>	<p>○</p>
4 働きやすい職場環境の整備	(2) 事務職員の確保・育成と専門知識の習得支援				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 計画的な事務職員の確保</li> <li>■ 病院特有の医事、経理及び財務などに精通する職員の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 計画的な事務職員確保</li> <li>● 病院特有の医事、経理及び財務などに精通する職員育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多様な業務研修への参加支援</li> <li>○ 医師事務作業補助者の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院特有の医事、経理及び財務などに精通する職員を育成</li> <li>・ 医師事務作業補助者を1人育成</li> </ul>	<p>○</p>
4 働きやすい職場環境の整備	(1) 働き甲斐を感じることができる仕組みづくり				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 職員のやる気を最大限に引き出し維持できる仕組みづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 職員のやる気を最大限に引き出し維持できる仕組みづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 仕組みづくりを検討</li> <li>○ 日常的な部署間交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員提案を募集</li> <li>・ 「KAIZEN（改善）発表会」を再開できず（府中市民）</li> <li>・ 副院長（院長職務代理）による各部署の職員との意見交換を実施（北市民）</li> </ul>	<p>○</p>
	(2) 日常的に業務改善に取り組む職場意識の醸成				
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日常的に業務改善に取り組む職場意識の醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日常的に業務改善に取り組む職場意識の醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全職員で共通認識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 院内広報紙「元気でるでる新聞」を発行（府中市民）</li> <li>・ 広報紙「かわら版」を発行（北市民）</li> </ul>	<p>○</p>	
(3) 福利厚生の充実					
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 職員の福利厚生や労働衛生管理の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 職員の福利厚生の充実</li> <li>● 健康で働き続けるための労働衛生管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全職員対象「ストレスチェック」によるメンタルヘルスの自己確認</li> <li>○ 事業者と職員代表による労働衛生管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全職員対象「ストレスチェック」によるメンタルヘルスの自己確認を実施</li> <li>・ 事業者と職員代表による労働衛生管理を実施</li> </ul>	<p>○</p>	

大項目4：財務内容の改善に関する事項					
	中期目標	中期計画	年度計画（平成29年度）	事業実績及び課題（事業報告書から）	評価
1 経営基盤の強化による自律した病院運営	(1) 予算執行の弾力化				—
	■ 弾力的な予算執行	● 弾力的な予算執行	○ 弾力的な予算執行	・ 特徴的な予算執行なし	
	(2) 収入の確保と支出の削減				○
	■ 収入確保及び支出削減 ■ 利用頻度の低い施設、設備の活用策検討	● 収入確保及び支出削減 ● 利用頻度の低い施設、設備の活用策検討	○ 収入確保及び支出削減 ○ 利用頻度の低い施設、設備の活用策検討	・ 理事会での目標管理を実施	
2 市からの財政支援	■ 市財政支援の有効活用 ■ 財政支援に依存する経営体質からの脱却	● 独立採算制の確立	○ 独立採算制の確立	市の財政支援を有効に活用 ・ 病院の建設改良費に要する経費 ・ へき地医療の確保に要する経費 ・ 不採算地区病院運営に要する経費 ・ リハビリテーション医療に要する経費 ・ 救急医療の確保に要する経費 ・ 高度医療に要する経費 ・ 保健衛生行政事務に要する経費 ・ 医師及び看護師等の研究研修に要する経費 ・ 共済追加費用の負担に要する経費 ・ 医師確保対策に要する経費	—
大項目5：その他業務運営に関する重要事項					
1 市の健康福祉関連施策への積極的協力	■ 市の健康福祉関連施策への協力	● 市の健康福祉関連施策への協力	○ 市の健康福祉関連施策への協力	・ 市の健康福祉関連施策へ積極的に協力	○
2 医療機器などの整備	■ 計画的な実施	● 計画的な実施	○ 計画的な実施	・ 両病院の医療機器整備経費及び府中北市民病院4階改築(サ高住)設計業務委託経費6,490万円 ・ 年度計画借入予定額3,800万円、借入実績額6,060万円 ・ 不足財源は借入額補正対応(12月市議会)	○
大項目6：予算、収支計画及び資金計画（平成29年度）					
	—	● 中期計画中の予算、収支計画、資金計画の各表を参照	○ 年度計画中の予算、収支計画、資金計画の各表を参照	・ 財務諸表を参照	○
					平成29年度には30,000千円余りの当期純利益が確保されており、収支的にも病院運営が順調であったことが示されている。

※ 大項目7以降の項目については、該当する取り組みがなかったため、評価を割愛する。